

このニュースはFAXとメールで送っています。地域民報に転載したり、各支部に配布するなどご活用ください。

# 札幌市議団ニュース

2010年10月14日 No.21

日本共産党市議団事務局発行  
電話 211-3221 FAX218-5124

## 決算特別委員会・論戦特集 村上議員

### ～市民目線ぬきの事業仕分けのあり方全体の見直しを～

#### 村上 仁議員

> 市民評価、いわゆる事業仕分けですが、89事業の選定すべてを改革推進部が行い、しかも判断材料として仕分人に提供された「論点シート」は、「削減」を示唆する「廃止」「不要」「見直し」などのコメントで貫かれており、問題だ。連日テレビで放映された国の事業仕分けの影響も受け、バツバツと廃止だ、見直しだと傾斜していたのではないか。

#### 渡邊改革推進部長

> 選定は札幌市が行った。確かに選定過程での市民参加の促進は検討すべきだ。ただ1600も事業がある、仮に絞り込んだとしても判断材料を示して選定してもらうのにも相当の時間がかかるので検討すべき課題となる。

事前の説明で単なる経費削減ということではなく、少子高齢化の中、将来にわたって安心して生き生きと暮らせる街づくりをめざし有効性、必要性、効率性の観点から検討をお願いしている。

#### 村上 仁議員

> 「仕分けの結果に納得できない」という市民意見が多数寄せられている。また本市「世論調査」(2009)でも、高齢者福祉の充実、健康づくりの充実が1位と6位と上位を占めている。税金のムダは削るべきだが、市民が充実を求め必要としている事業は単に効率性や財源云々ではなく、仕分人へより幅広い情報を提供し、利用者の意見聴取をしっかりと行いながら慎重に判断すべきだと思うが、いかがか。

#### 渡邊改革推進部長

> 削減ありきでなく「論点シート」はもちろん、様々な資料を示して説明を行い、より広い観点から議論してほしいとお願した。

#### 村上 仁議員

> 仕分け対象は市民の立場や目線から項目選定することが大切だ。例えば、月1回1-2時間程度の会議などに参加するだけで月額報酬が23.7万円(市委員長)、16.4万円(市委員)となる選挙管理委員会などの高すぎる行政委員報酬とか、莫大な税金を投入して150メートルの巨大ビルと建設する北1西1街区開発構想とか、幹部職員の下り指定席問題とか、市民の願うものを事業仕分けの対象とすべきと思うが、どうか。

#### 渡邊改革推進部長

> 事業の選定にあって多くの市民参加をめざし市民や事業者が直接かかわる事業など、市民目線、市民感覚で見直しの方向性を判断してもらうのに有意義な事業89を選定した。

#### 村上 仁議員

> 市民目線、市民感覚というのであれば、“なぜ先に保養センター駒岡や健康づくりセンターなどを削減し、150メートルものビル構想には何百億も投入されるのか?”という意見が市民目線、市民感覚としてあるわけだから、対象事業を決めていくときも市民目線を取り入れることが必要だと申し上げておく。最後に、私が今日指摘したことも踏まえて、事業仕分けのあり方全体を見直すべきだと思うが、現時点でどう考えるか、伺いたい。

#### 渡邊改革推進部長

> 来年度の市民評価の実施方法は、さらに市民参加をすすめることを重点にし、そのための様々な手法の検討、またより充実した議論をしていただくための方法を含め、幅広い検討をしたい。